

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みにになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

進行性核上性麻痺(PSP)診療ガイドライン 2020

進行性核上性麻痺(PSP)診療ガイドライン 2020 作成委員会, 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)「神経変性疾患領域の基盤的調査研究」一般社団法人日本神経治療学会, 日本神経治療学会外部ガイドライン対応ワーキング部会

発行年月日 2020

Minds 掲載 有

■1 抑肝散

疾患:

PSP(進行性核上性麻痺)の精神症状(ICD 様症状、強迫行動など)

引用など:

正山勝, 梶本賀義, 高橋隼, ほか. 私のカルテから抑肝散により精神症状の改善を認めた進行性核上性麻痺の 1 例. *精神医* 2012; 51: 801-2.

有効性に関する記載ないしその要約:

『CQ7-3 精神症状(ICD 様症状、強迫行動など)を改善する薬物はあるのか?』に対して、解説・エビデンスの項に下記の記載がある

『抑肝散を投与して臨床的に評価して、易怒性や興奮に対して有効であった症例報告がある』